

2020 年度事業報告書

特例認定 NPO 法人三段峡一太田川流域研究会

I 総括

2020 年度のテーマは「深く根をはる」とし、新規事業より、取り組んでいる事業の発展と各事業での継続の基盤(お金・時間・人材・ブランド)を得られる状態を目指した。また三段峡の「本質的価値」の向上に加え、「総合的価値(三段峡の魅力をベースに生まれる新しい価値)」の向上に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で無印良品とのプログラムの中止、環境教育事業の中止などで事業が減少した。J-Coin 基金での「アフターコロナの地域観光」、環境省「国立・国定公園への誘客の推進事業費及び国立・国定公園、温泉地でのワーケーションの推進事業費補助金」では主体的な役割を担い地域事業者との連携を主導した。RCC ラブ・グリーン賞受賞や受賞に至らなかったが、広島県の「令和 2 年度ふるさとづくり大賞」へ推薦など組織の活動が評価と信頼性の高まりを実感した。

昨年 6 月に環境影響評価配慮書が示された広島西ウインドファーム建設事業では、さんけんの「しらべる、つたえる、つなげる」行動指針に沿って、活動で培った専門家のネットワークからの知見の入手、風力発電に諸課題を伝える工夫、また町内や湯来・吉和地区との連携を築く上で重要な役割を果たした団体と認識された。

半面三段峡のホームページ制作業務と運営業務では受託できず、過疎地域等集落ネットワーク圏形成事業では申請の見送り、帝釈峡との連携など、安芸太田町との協働が必要な事業では成果がなく、同町とパートナーシップ構築の課題が浮き彫りになった。

9 つのプロジェクトの実施を計画したが、成果を残せない事業もあった。すべてを実現したとすれば、かえってチャレンジがないとも言える。プロジェクトの未達が多ければ無理の多い運営をしている可能性がある。本年はコロナ禍の状況を差し引いても「失敗」したプロジェクトが多かった。しかしながら組織運営にダメージがある規模の失敗ではなく、良き学びとして次年度につなげ成長の糧としたい。

取り組みの成果

(しらべる=リサーチ)/環境保全事業・研究事業

①「三段峡野外博物館プロジェクト」 (最終アウトカムへの貢献/定性効果)

三段峡や地域の資源の価値が向上を続けるループの構築を目指して、三段峡の価値を加える本プロジェクトは、さんけんの最も本質的な取り組みである。設立以来の継続事項で、歩みのスピードは遅くとも確実に三段峡のイメージの変換に貢献している。

●調査から得られた知見の活用

広島ホームテレビの地球派宣言では三段峡の河川環境の紹介とキシツツジの特集の 2 本が放映された。従来の観光地としての紹介ではなく、野外博物館としての取り上げられるようになった。三段峡のアプリ開発では「南峰と歩く」と「三段峡ガイドブック」が活用された。三段峡の成り立ちムービーでは、基本ストーリーの検討など過去の研究が生かされた。調べ続ける団体の存在の価値を示せた。

●専門家を招聘した歩く会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響で歩く会の開催は縮小しつつも実施した。

●草花の植生の調査、オオサンショウウオや河川の生き物の調査、深入山のゴマシジミの保全の取り組む

希少植物やオオサンショウウオをはじめ、イシドジョウ、スナヤツメなどが確認された。ゴマシジミも新たな発生場所の発見などの成果があった。

▲三段峡のHPやビジターセンターの設置の要請

さんけん設立以来、三段峡のHP設置の要請し、ついに本年度行政がHPを設置した。しかし、HPの作成業務の企画競争に挑戦したが不採択であった。またさんけんによるHPの運営を要望したが、他社の運営となってしまった。

(今年度のアウトプット目標/定量効果)

目標:取り組んだ事業の資料ができる。(形式は問わず3つ)

結果:小林理事による三段峡の植生調査に進展があった。今後アーカイブ授業で取り組みがスタートされ、より良く厚みを増していくものと期待できる。

②「旧派渓谷の逆襲プロジェクト」

(最終アウトカムへの貢献/定性効果)

「三段峡でこれからの日本文化が生まれる」を最終アウトプットとした本事業では、三段峡の名称指定100周年を目指して、指定当時の三段峡の評価を見直し、三段峡の魅力を最大限に活用した文化の創出を目的とする。

●「水を中心としたブランディングの検討

J-COIN基金を活用した+プロジェクトで安芸太田町の水をテーマにした地域観光のテストマーケティングを実施した。地域全体で水をテーマにしたブランディングの兆しが生まれた。

▲100周年に向けた帝釈峡との連携事業を進める。

新型コロナウイルス感染症の拡大のため双方の交流が中止となった。帝釈峡サイドは役場及び二つの観光協会が参加する。安芸太田町のカウンターパートナーとして地域商社の積極的な協力が求めたが得られなかった。

▲さんけん新聞連載の「南峰と歩く」の単行本化の準備をする。

尾崎により写真の撮影が行われた。資金調達の目処はまだ立っていない。2021年度、連載50回を迎える予定。

(今年度のアウトプット目標/定量効果)

目標:帝釈峡と連携が進み、来年度の協働事業が生まれる。

結果:連携の進捗が見られなかった。

(つたえる=インタープリテーション)/観光事業・人材育成事業・出版および情報発信事業

③さんけん自然塾プロジェクト

(最終アウトカムへの貢献/定性効果)

子供同士が学び合う自然塾の持続的な運営体制を構築し、学んだ子供が教える側に、教えた子供は地域の自然を守るフィールドワーカーになり、「地域の自然を守り、見つめる人材が育ち続ける」を目標にする。新型コロナウイルス感染症の影響で実際の活動はできなかつたが、今後に向けた準備ができた。

●年間を通じて参加しやすいシステムを導入する。

年 4 回のプログラムが完成し、募集ページが作成され、参加の仕組みが分かりやすくなつた。

●WEB は FB ページ、Youtube チャンネルを作成しコンテンツの掲載を図る。

FB ページ、YouTube チャンネル「さんけん WEB 自然塾」を開設。コンテンツの掲載ができ、コンテンツの紹介が容易になった。

●広報戦略、WEB コンテンツ制作をする。

広島市内小学校へのチラシの配布、チラシからさんけん WEB サイトや自然塾動画の視聴と導入線をうまれ、市内の対象者へ情報を届ける仕組みがうまれた。

(今年度のアウトプット目標/定量効果)

目標:年間プログラムの完成、プログラムの試行、募集要項・チラシの完成、WEBコンテンツ公開

結果:すべて実施した。

④さんけんツアー販売プロジェクト

ガイド事業で収入が得られ、事業が継続し、地域での新しい雇用が生まれ、三段峡での体験と学びが来峡者に提供できる環境の維持を目的に、ツアー開発から踏み込んで販売プロジェクトとした。さんけんとしてのツアー販売は税制上の課題や安全管理、事業の継続性の面で課題が残るために、個人事業としてスタートし、フィールド調査・保全への寄付をさんけんに行う形をとる。事業の状況によって運営をどのようにするか 3 年後に再度検討するとして、それまでは販売プロジェクトとしては、さんけんの事業から切り離す。

▲HPなどを活用してツアーの独自試験販売を開始する。調査で得た知見を基にしたツアープログラムの作成も継続して実施する。無印良品との協業による試験ツアープログラムの制作し、販売する。

新型コロナウイルス感染症の影響により試験販売は実施できなかつたが、HP の作成に着手できた。試験プログラムの作成や、調査の知見を活用したプログラム開発は達成できた。

▲広島大学中坪ゼミやNPO法人ひろしまジン大学とのインバウンド協働プロジェクトを実施する。

新型コロナウイルス感染症のためにインバウンド事業は中止した。感染症の終息があり外国人観光客が戻ってくるまでは休止とする。

(今年度のアウトプット目標/定量効果)

目標:年間通じたツアー販売の実施がなされる。

結果:販売には至らなかつたが、販売できる仕組みつくりまでは達成した。

⑤三段峡ブランディングプロジェクト

三段峡のブランディングを実施できるWEB環境(HP など)が整備され、ブランディングに貢献でき運営を目的にプロジェクトを立案したが、三段峡専用 HP の作成は他社に委託され、運営は地域商社あきおおたの実施となつた。

三段峡のブランディングはさんけんの基本的な取り組みであり、各プロジェクト内で実施されると考え、本プロジェクトは今年度で終了とする。

(つなげる=ファシリテーション)/地域つくり事業・友の会運営事業

⑥西中国山地国定公園 50 周年プロジェクト

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。本プロジェクトは終了とする。

⑦三段峡・地域ネットワーク圈形成プロジェクト

(最終アウトカムへの貢献/定性効果)

地域の価値向上が、さらに新たな事業を生むループの構築を目的に地域内外での連携した事業の実施を行った。このプロジェクトで想定した助成金の申請はできず、本プロジェクトは今年度で終了とする。しかし、西中国山地国定公園サスティブルツーリズム推進協議会の設置があり、引き続き今後も地域ネットワークの形成にむけて取り組む。

▲三段峡の「水」を中心コンセプトにしたサービスを提供するため店舗改修資、及び商品開発

水をテーマにした、町内周遊プログラムは実施できたが、店舗改修や商品開発はできなかった。

●地域内連携の実施。

J-Coin 基金を活用した地域観光の促進、環境省国立・国定公園誘客促進事業での連携ができた。さんけんが主体となり地域内外の事業者と事業を運営する DMO(観光地域づくり法人)的な役割を担ったのは大きな前進と言える。

▲行政と協力し地域おこし協力隊の受け入れをする、今年度はプランを作成し助成金の申請をする。

ワークショップの実施、自治会との話し合いなどを取り組み申請書作成まで進んだが、申請できなかった。

(今年度のアウトプット目標/定量効果)

目標:休眠預金、過疎地域等集落支援ネットワーク圈形成事業のどちらかの助成への申請

結果:申請できなかった。

⑧地域づくり促進プロジェクト

多様な団体と共に戦略を持ち、三段峡および周辺地域の活性化を目的に、ファシリテーションの活用により地域マネジメントを実施した。+ 水事業を通じて地域間の共通戦略の策定など実施した。

●ファシリテーション勉強会を運営し、「あきおおたの楽しい 100 人」や「長期総合計画を読み解く会」を継続する。

楽しい 100 人はコロナ禍のもと、工夫しながら継続した。読み解く会は中止した。

▲エコツーリズム推進法・SDGs・地域循環共生圏を行政と積極的に協力し実現を目指す。行政に働きかけをするも、進捗しなかった。

▲町外の事業においてもファシリテーションやワークショップ設計の技術を生かす。

想定していた事業の担当にならず、町外の事業で活用の機会はなかった。

(今年度のアウトプット目標/定量効果)

目標:「あきおおたの楽しい 100 人」や「長期総合計画を読み解く会」の継続 行政との共同事業の実施(SDGs・エコツー推進法など)

結果: 楽しい 100 人は継続、そのほかは実施できず。

⑨さんけん 100 年化計画(組織基盤強化)

さんけんが次世代に引き継げる組織となるために、組織基盤の強化を実施した。目標を認定 NPO の申請としたが、申請年度は次年度であったために申請に係る準備の期間とした。

●認定 NPO 制度への準備をする。

実施した。

●事務局機能強化などの研修を受ける。

非営利組織評価センターのオンライン研修に参加した。

●非常勤で組織運営に加わるスタッフを活用する。

活用した。

(今年度のアウトプット目標/定量効果)

目標: 認定 NPO への申請

結果: 申請の準備をした。

II 事業ごとの成果

1. 環境保全事業

101「環境保全」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
山の日	6月7日 中止	深入山	未来につなぐ ふるさと基金	上野吉雄 佐久間智子 上手新一 本宮 炎 本宮宏美 本宮芳太郎	0	3 ⇒	
希少チョウ調査隊	8月22日		未来につなぐ ふるさと基金		13		
深入山写真会	8月30日		未来につなぐ ふるさと基金		24		

「風力発電についての情報発信活動」実施報告

個別名	時期	回数	場所	資金	従事者	参加人数	計画との比較	備考
勉強会	7月 10月 12月 2月	11回	安芸太田町内 吉和地区	寄附	本宮宏美 本宮 炎 上野吉雄	219	0 ↑	小林久哉 白川勝信 畠瀬 淳 結の会
MTG	7月.8月. 10月.12月	11回	さんけん事務所 など			35		大神朋子 小田理恵 梅田一磨
町長訪問	7月 15日 3月 26日	2回	安芸太田町役 場			6		
講演会	9月 19日	1回	社協			70		4団体共催
視察	11月 1日 11月 10日	2回	市間山 八幡など			19		中学生4人 小学生2人 坂原住民
意見書集 め	6/23~7/22 1/26~3/11	2回	さんけん事務所 など			24		298通 1074通

102「環境調査」実施報告

個別名	時期	場所	助成金 名	従事者	参加人数	計画との 比較	備考
チョウの 調査	8月 12日 9月 4日	深入山	未来に つなぐふ るさと基 金	上野吉雄 上手新一 本宮芳太郎	11	10 ↓	8人+3人

103「環境整備」実施報告

個別名	時期	場所	資金	従事者	参加人数	計画との 比較	備考
三段峡 清掃	4月.7月. 8月.10月	三段峡	三段峡 観光同 業組合 など	松尾俊孝 本宮 炎 小林久哉 本宮宏美	65	5 ↗	春 27人 秋 23人 今井 亮

2.研究事業

201「歴史・文化」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
岡岷山と歩く会	10月15日	筒賀森林館	本宮宏美 清水正弘 梅田一磨	19	4 △	

202「植物」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
樹木	7月14日 7月28日	三段峡	広島県省工ネ活動促進補助金	本宮 炎 本宮宏美	7	4 △	
キノコ	10月31日	恐羅漢	広島県省工ネ活動促進補助金	本宮 炎 本宮宏美	11		
樹木	6月6日	三段峡		本宮宏美	2		
希少植物	6月14日	恐羅漢		上野吉雄	7		
希少植物	7月2日	市間山		上野吉雄	2		
植生	8月1日	市間山・立岩山		上野吉雄	16		

203「動物」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
川魚・オオサンショウウオ	7月31日 8月11日.12日	三段峡	広島県省工ネ活動促進補助金	本宮 炎 本宮宏美	11	10 △	
オオサンショウウオ調査	8月5日.31日 9月15日.17日 10月7日	三段峡 柴木ダム下	パタゴニア助成金	本宮炎 本宮芳太郎 若槻なつき 和崎伸	12		
ライトトラップ	8月12日	月ヶ瀬公園	広島県省工ネ活動促進補助金	本宮 炎 本宮宏美	10	4 ⇒	
鳥	12月19日 3月20日	三段峡他	広島県省工ネ活動促進補助金	本宮 炎 本宮宏美	14		
アリ	9月27日	深入山		本宮 炎 上野吉雄 本宮芳太郎	4		

3.観光事業

301「インテリテーション」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
キラキラ ツアード	10月25 日	三段峡	赤い羽 根でイン タープリ ター	本宮宏美 倉田達子 大倉久美子 阿保陽子	13	2 ↓	

302「イベント・ツアー企画運営」

・「無印良品ツアー」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
プレツアード	8月25 日	三段峡	本宮 炎	12	8 ↓	
MTG	6月5日 1月18 日. 2月16日 3月9 日.16日	無印良 品パル コ店な ど	本宮 炎 本宮宏美	16		

・「広島大学地域応援プロジェクトインバウンド」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
MTG	7月7日 など	zoom 会	本宮 炎 武輪千咲 大崎壮巳	12	△	インバウンド用 ガイドマップ完成
現地視 察など	11月14 日など	三段峡	本宮 炎 武輪千咲 大崎壮巳	3		

・「ツアード開発」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
forema	8月24日	三段峡	本宮宏美 小林久哉 小泉靖宜	7	0 ↑	
沢登	8月18日など	三段峡	本宮 炎 本宮宏美	7	2 △	大田由孝
奥三段峡	8月21日	奥三段峡	本宮 炎	6		

303「ビジターセンター」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
ビジターセンター運営	コロナで中止		本宮宏美	0	20 ↓	

4.地域つくり事業

401「ファシリテーション事業」実施報告

・「ファシリテーション勉強会」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
FMC↑	毎月 第2 第4 木	社協 加計印刷	本宮宏美	67	72 ⇒	大倉啓司 小野薗里子

・あきおおたの楽しい100人

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
あきおおたの 楽しい100人	6月28日 7月18日 9月5日 11月14日 1月24日	安芸太 田町内	本宮宏美	132	6回 ↓	大倉啓司 小野薗里子

402「事務局委託」実施報告

なし

403「会議出席」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
西中国山地50周年	4月7日	さんけん 事務所	本宮 炎	6	4 ↓	

404 その他「地域連携」実施報告

・地域のテーマを決めて発信「+ 水プロジェクト」実施報告

個別名	時期	回数	場所	資金	従事者	参加人数	計画との比較	備考	
MTG	8月.9月. 10月.1月. 12月.2月	11回	役場会議室	J- coin 基金	本宮 炎 本宮宏美 影井伊久美	79	0 ↑	役場職員 地域商社職員 安芸太田町民 事業者 他	
FA 講座	9月 26日. 27日		三段峡ホテル 広間		本宮 炎 本宮宏美	10		鈴木まり子講師	
社会調査講座	10月 12日					7		水谷衣里講師	
ニーズ ツアーワーク	11月 22日 23日		三段峡など		本宮 炎 本宮宏美 影井伊久美	12		50代保育士対象	
ニーズ ツアーワーク	11月 29日 30日		三段峡など			16		大学生対象	

・「その他の連携」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加人数	計画との比較	備考
環境パートナーズ	7月 18日など		本宮 炎	1	4 ↑	
三段峡×帝釈峡	コロナのため中止		本宮 炎	0		
商工観光課とビジョン会議	5月 15.6月 25	さんけん 事務所	本宮 炎	8		
地域商社 MTG	5月 12日など	地域商社会 議室など	本宮 炎	5		
地域づくり課と MTG	1月 15日. 2月 25日. 3月 19日.29日	さんけん 事務所	本宮 炎	9		渡海 滋
三段峡同業	4月 10日.24日. 2月 12日. 3月 27日	さんけん 事務所	本宮宏美	12		
柴木・四合 MTG	2月 26日. 3月 25日	さんけん事 務所など	本宮 炎	13		渡海 滋
売店開発	/		本宮 炎	0	0 ↑	

5.人材育成事業
501「教育プログラム開発」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
自然塾	5月 20日	三段峡 内・石槌 にて	green gift	本宮 炎 上野吉雄 佐久間智子 上手新一 本宮宏美	9	2 ↑	下見 両生類
	7月 31日	online		本宮 炎	6		ビデオ編集
	8月 17日	三段峡		本宮 炎 瀬尾 淳	11		
	8月 28日 29 日	三段峡		本宮 炎 本宮宏美	10		山崎家
	9月 24日	EPO			5		ビデオ編集
	9月 12日	岡山			2		視察
さんけん 自然塾 MTG	1月 24日な ど	オンライン		本宮 炎 本宮宏美	25		フライフィッシュ シャーズ
里山縁 MTG	10月 5日 19日.21日 29日 11月 12日 18日	筒賀児 童セン ター			45	0 ↑	なっぴー

502「安芸太田町教育機関等を対象とした教育プログラム」実施報告 なし

503「広島市内を中心とした教育機関等を対象とした教育プログラム」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
志屋小学校	7月 1日	三段峡	太田川 流域学 校間交 流事業	本宮 炎	16	3 ↓	
芸北小学校	中止			本宮 炎	11		
ジュニアリーダー養成講座	中止			本宮 炎	0		

504「三段峡ガイド育成プログラム」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
三段峡ガイド講習	/				0	2	
見せるIP講座	7月27日	三段峡ホテル	花の環	本宮 炎	13	△	

505「研修への参加」実施報告

個別名	時期	場所	助成金名	従事者	参加人数	計画との比較	備考
環境プログラム作り研修	9月21日 22日	深入山 三段峡ホテル	ニシ サス	本宮 炎	36		
支援者管理研修	9月30日	オンライン		本宮宏美	1		
いのちのたび 博物館	11月9日	北九州市		本宮宏美	1	6 ⇒	
遺贈寄付セミナー	11月26日	オンライン		本宮宏美	5		
自主セミナー (オンライン) 『雇用』	12月9日	オンライン		本宮宏美	4		

6.情報発信及び出版事業

601「さんけん情報発信・出版」実施報告

個別名	時期	従事者	参加人数	計画との比較	備考
さんけん 新聞	毎月10日発行	尾崎秀司 松尾俊孝 本宮 炎 小林久哉 本宮宏美	72	12回 ⇒	1500部発行
FB/Inst /LINE	週5	本宮 炎 本宮宏美	260	⇒	FB 約260回
HP	随時	本宮 曜 本宮 炎	3	⇒	
アニュアルレ ポート	7月完成	本宮 曜 本宮 炎	2	⇒	500部

602「三段峡情報発信」実施報告

個別名	時期	従事者	参加人数	計画との比較	備考
FB/Inst /LINE	平均週5	小林久哉	260	⇒	FB 約260回
カレンダー	1月	瀬尾 淳	30	△	

7.友の会運営事業

701「会員サービス」実施報告

個別名	時期	場所	従事者	参加 人数	計画と の比較	備考
広報くばり	月1回		本宮宏美	1440	⇒	
アニュアル レポート配り	7月 26日 ～		本宮宏美	350	⇒	
さんけん祭	12月 6日	セントラル	本宮宏美 瀬尾 淳 本宮 炎	35	59 △	そば 猪 ラーメン
理事で歩く会	11月 28日	三段峡	本宮炎	6	59 △	